

SPIEGEL

2月号

2023. February.9/Vol.1

調査概要

<調査期間>

調査実施日：2023年1月30日～2023年2月2日

昨年同時期：2022年1月24日～2022年1月31日

Subjects

1 〈学生動向〉 P.2

- ・ インターンシップ平均参加率
- ・ インターンシップ平均社数
- ・ 面接平均参加率と参加社数

2 〈企業動向〉 P.5

- ・ 2024年卒者の新卒採用の見通し（大学生・大学院生）
- ・ 業種別 2024年卒者の新卒採用の見通し（大学生・大学院生）
- ・ マイナビプレサイト掲載企業数
- ・ マイナビインターンシップ掲載企業数

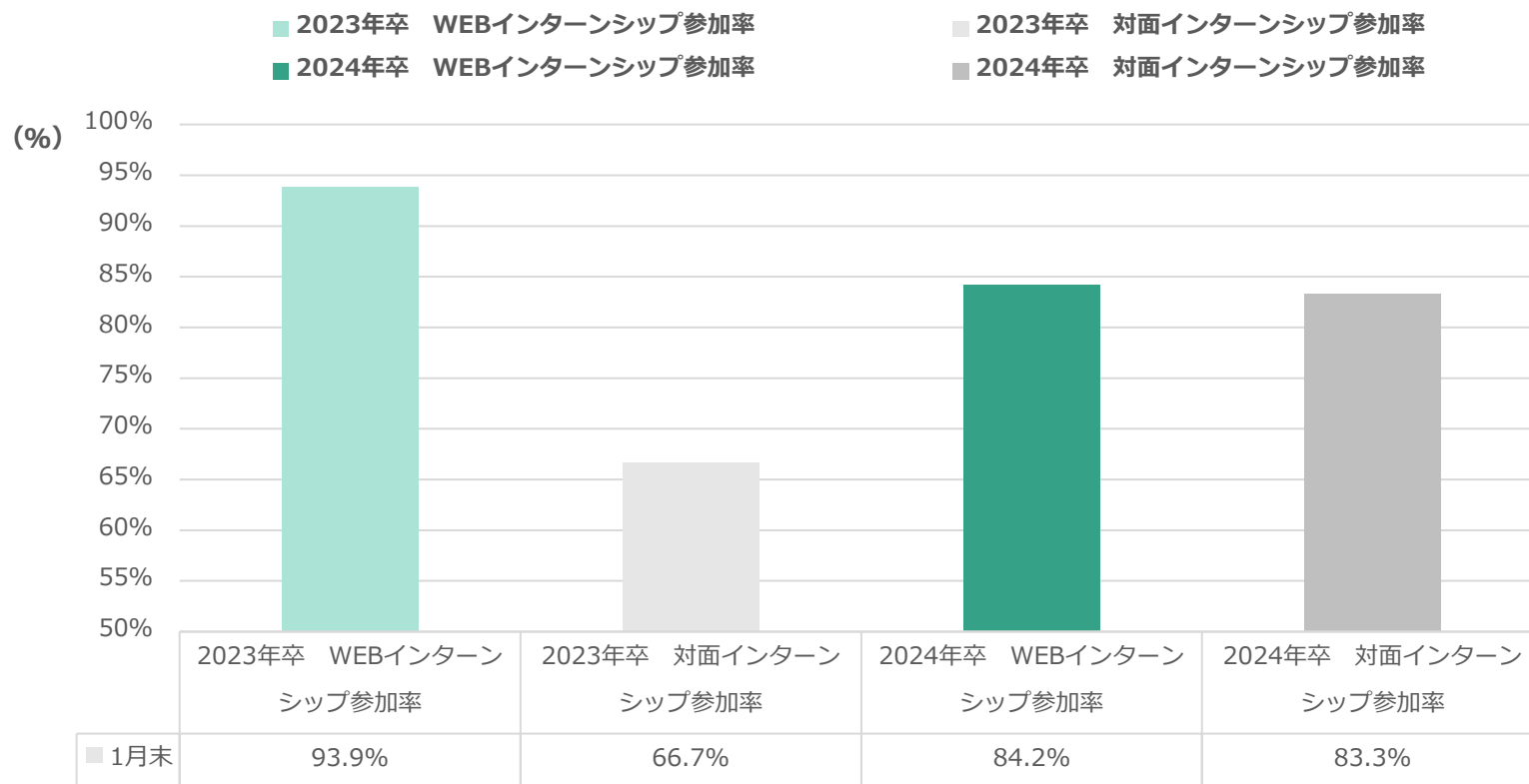
3 〈学生アンケート〉 P.8

- ・現在の就職活動の状況に一番近いものはどれですか？
- ・現在登録している就活ツールを教えてください。
- ・利用頻度の高い上位3つの就活ツールを教えてください。 / なぜそのナビをメインで使っていますか？
- ・年末年始休暇中に就職活動はしましたか？
- ・インターンシップには、いつ参加しましたか？参加した時期をすべて教えてください。
- ・何月から就職活動をスタートしましたか？ / なぜその時期から始めようと思いましたか？
- ・就活準備をするなかで、まだ十分でないと思うことはありますか？
- ・インターンシップに応募するとき、対面とWEBのどちらに参加したいと思いませんか？
- ・完全にSNSの広告のみでインターンシップに参加した企業はありますか？
- ・インターンシップ参加後、実際に企業から受けたフォロー（案内）はどんなものがありましたか？
- ・3月前までに、企業選考に進む予定はありますか？ / 3月1日を迎えるまでに就職先を決定したいですか？
- ・選考参加の基準について下記の心情のなかから、当てはまるものを教えてください。

4 〈新入社員エッセイ〉 P.22

1. 学生動向

インターンシップ平均参加率

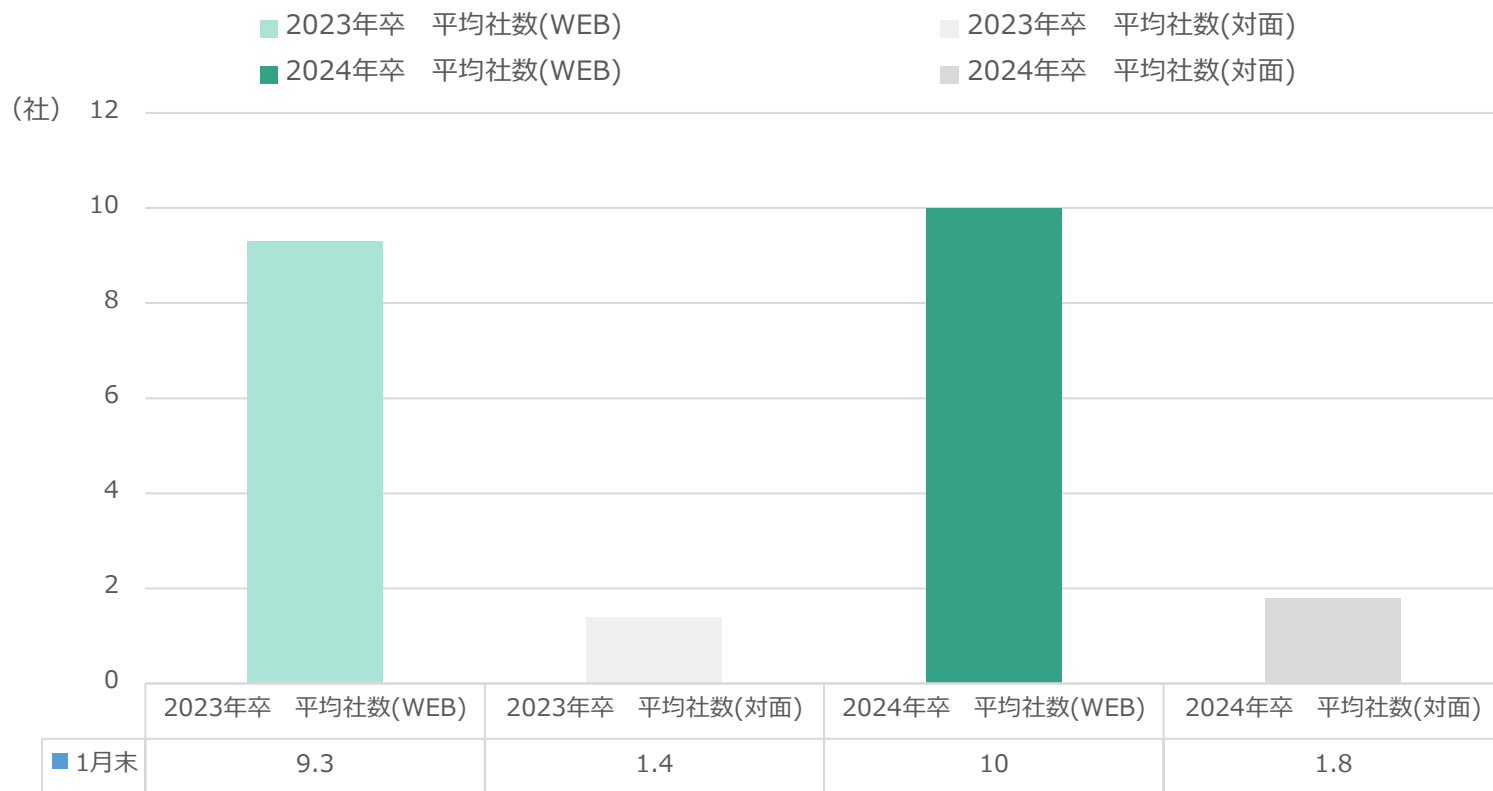


■ 対面インターンシップの参加率、昨年同時期より16.6ポイント上昇

WEB・対面問わず、8割以上の学生がインターンシップに参加しています。なかでも対面形式の参加率は83.3%と、昨年同時期よりも16.6ポイント上昇しています。23卒調査では、WEBと対面の参加率に27.7ポイントも差がありましたが、24卒では開催形式による参加率の違いはあまり見られません。徐々に、オフライン就活へ取り組む学生が増加している様子が窺えます。

1. 学生動向

インターンシップ平均社数

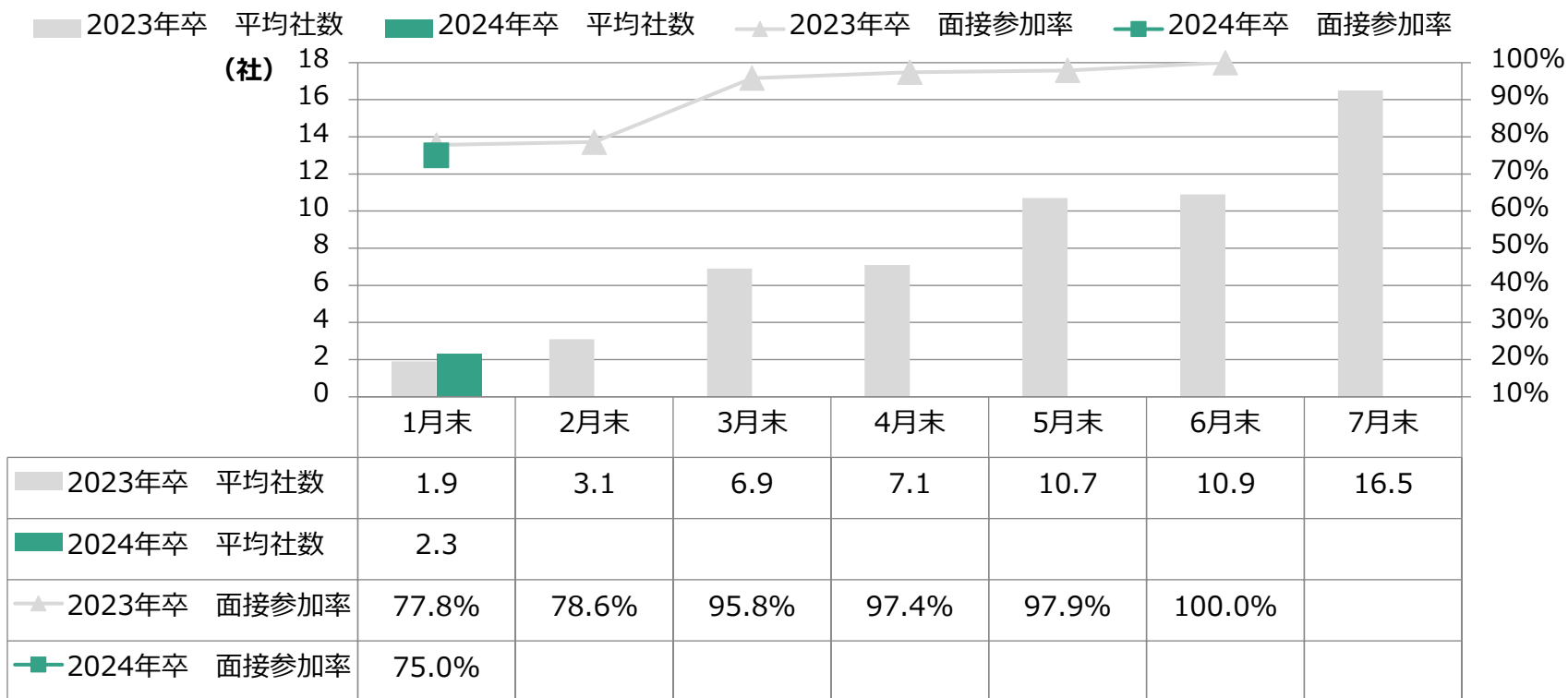


■ 参加形式は、WEBが優勢。対面との差は8.2社に

インターンシップの平均参加社数は、「WEB」が10社、「対面」が1.8社と、8.2社も差がありました。参加率としては、WEB・対面ともに大きな差はなかったものの、経験している形式では、WEBが圧倒する結果となりました。拘束時間や交通費などの面からも、WEBのほうが参加しやすいメリットがあることから、依然、24卒もWEBでの活動が主流となっているようです。

1. 学生動向

面接平均参加率と参加社数

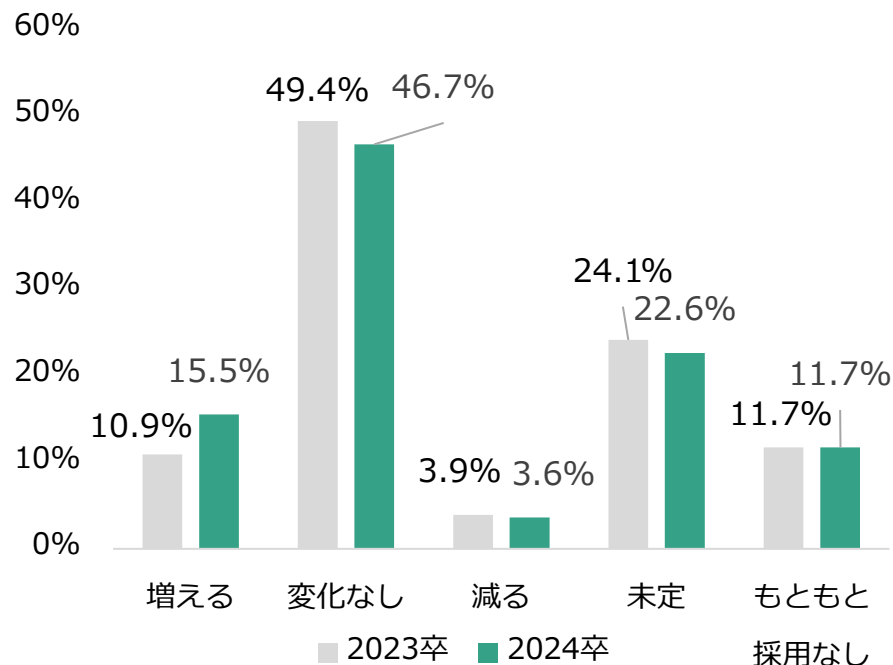


■ 面接平均参加社数は2社越え

面接参加率は75.0%と、昨年同時期とおなじく、7割を越えました。また平均参加社数は2.3社と、昨年よりも0.4社増加しています。情報解禁前に面接へ参加することは、インターンシップ参加と並んで、学生の当たり前になりつつあります。

2. 企業動向

2024年卒者の新卒採用の見通し (大学生・大学院生)



※出典：リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査」より
※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります。

業種別 2024年卒者の新卒採用の見通し (大学生・大学院生)

業界分類	増える	変化なし	減る	未定	もともと採用なし
建設業	14.0%	51.1%	4.3%	18.2%	12.5%
製造業	15.4%	47.3%	3.4%	23.3%	10.6%
流通業	16.7%	49.5%	4.9%	20.0%	8.8%
金融業	15.0%	53.1%	1.8%	27.0%	3.1%
サービス情報業	15.4%	43.0%	3.2%	23.2%	15.2%

※出典：リクルートワークス研究所「ワークス採用見通し調査」より
※%を表示する際に小数点第2位で四捨五入しているため、%の合計が100%と一致しない場合があります。

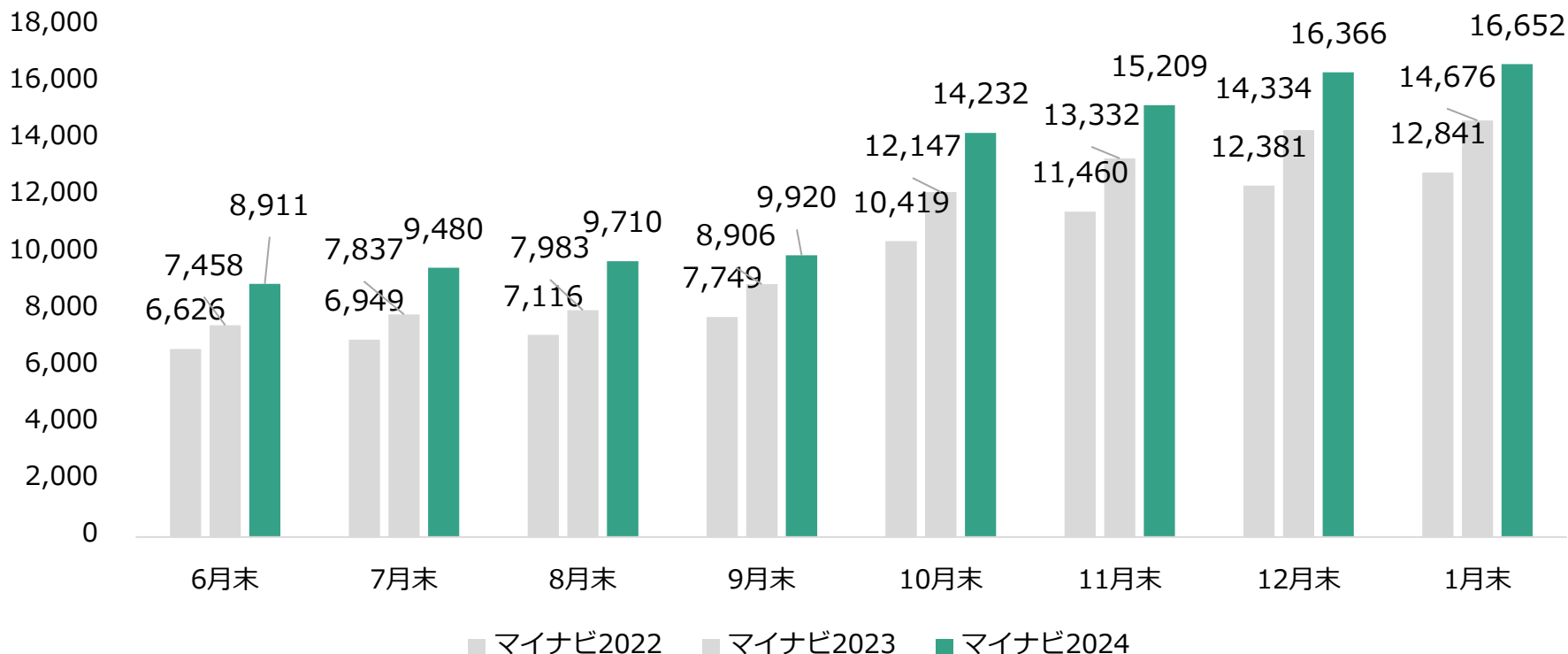
■ 2024卒の採用人数は大きく増加見込み

24卒採用における採用人数について、「増える」と回答した企業が全体で15.5%という結果になっています。また業種別に見ても、全業種において「増える」が「減る」を大きく上回っており、企業の採用意欲は大幅な増加傾向にあると考えられます。

24卒から採用を拡大する企業、また採用を再開する企業が増え、昨年よりもさらに厳しい採用活動になりそうです。

2. 企業動向

マイナビプレサイト掲載企業数



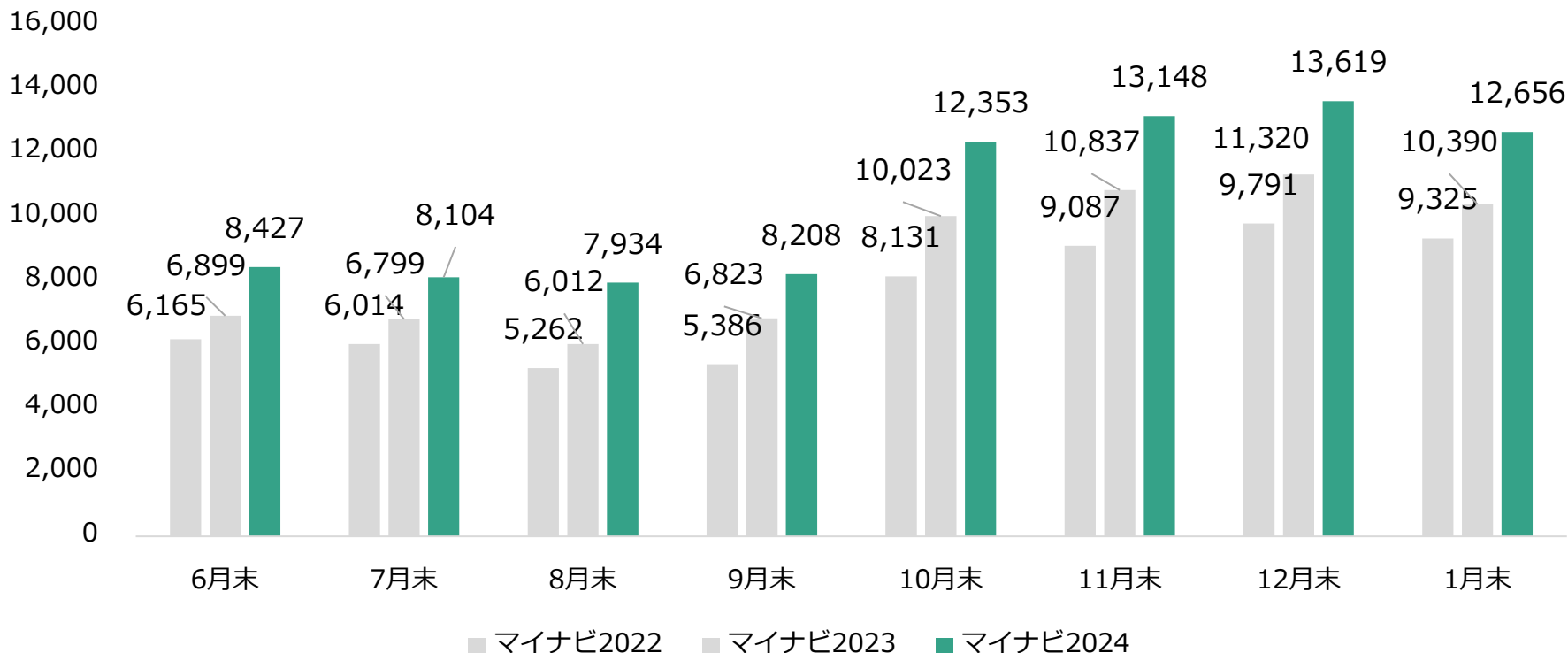
※出典：株式会社マイナビ「マイナビ2024 プレサイト 6月～1月度 月次レポート」より

■ 1月のプレサイト掲載企業数は1万6千社を超える

1月のプレサイト掲載企業数は16,652社という結果になり、22卒採用に比べ約1.3倍の企業が早期掲載をしています。また、1月時点では6月の8,911社と比較すると約1.9倍もの企業がプレサイトを掲載しているため、なるべく掲載企業の少ない早期から活動を始めるなどの検討が必要です。

2. 企業動向

マイナビインターンシップ掲載企業数



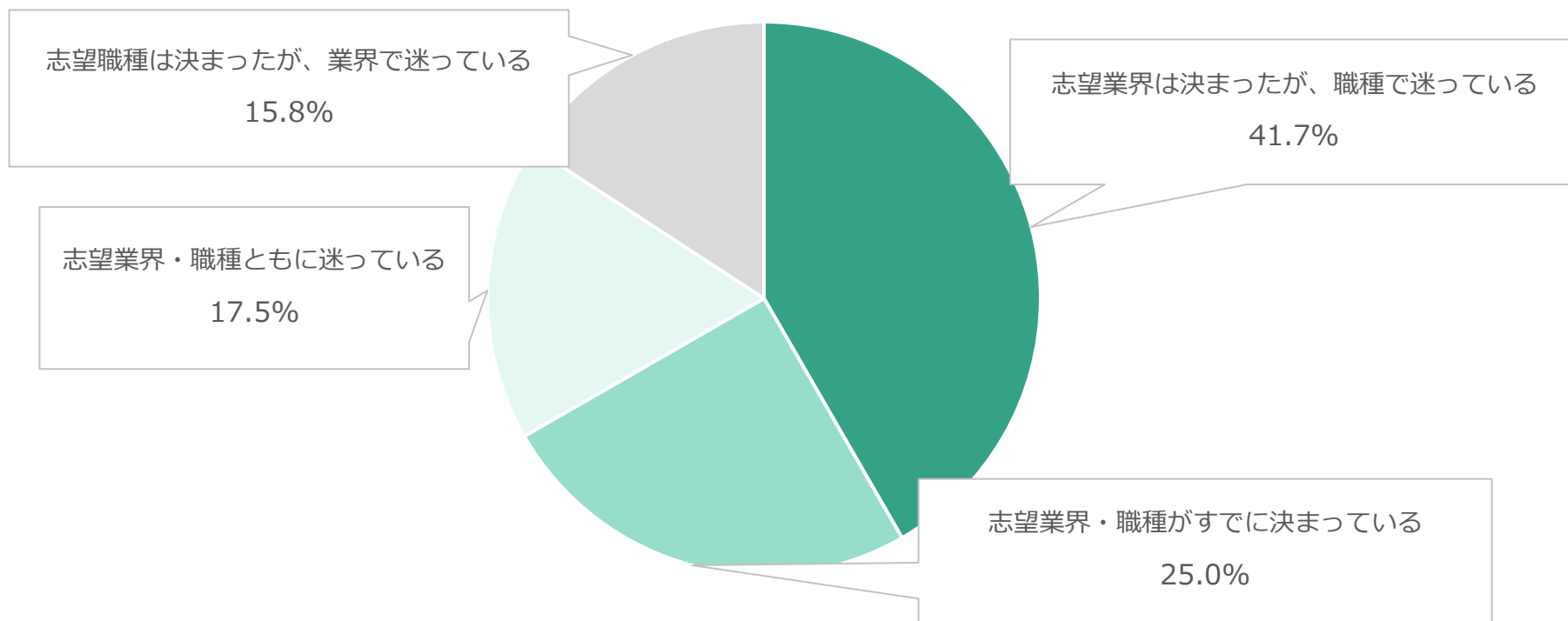
※出典：株式会社マイナビ「マイナビ2024 プレサイト 6月～1月度 月次レポート」より

■ インターンシップ情報掲載企業数は12月が最多で約1万4千社に

インターンシップ情報掲載企業数は、12月が最多で13,619社という結果になり、年々増加傾向にあります。9月から10月にかけて、インターンシップ情報掲載企業数が約1.5倍に増加しているため、ライバルの少ない9月までにインターンシップを実施することで集客促進につながると考えられます。

3. 学生アンケート

Q. 現在の就職活動の状況に一番近いものはどれですか？

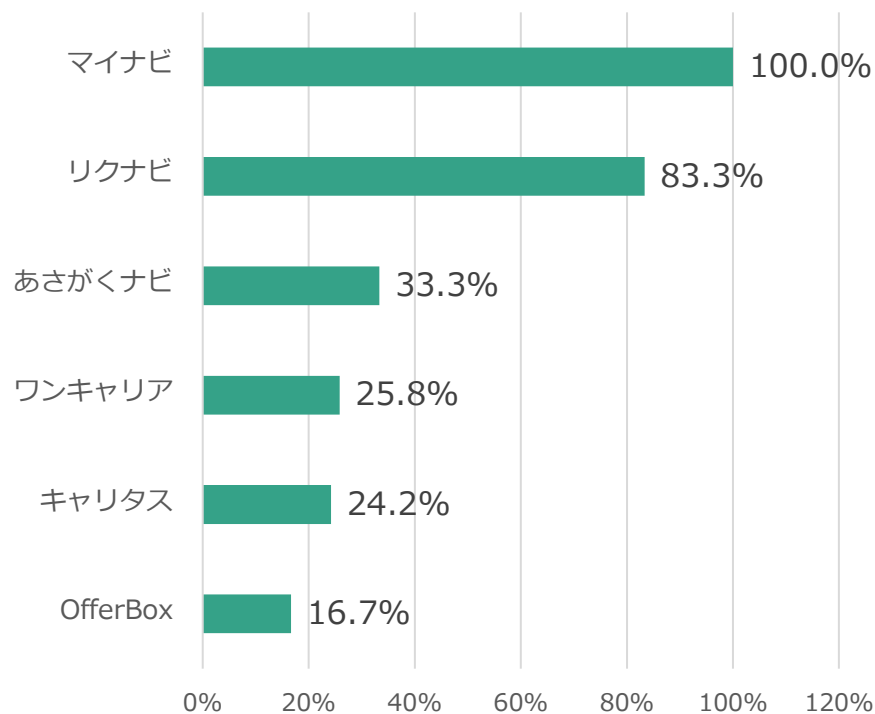


「志望業界は決まったが、職種で迷っている」という学生が41.7%と、最多回答を集めました。会社説明会などでは、業界説明よりも、具体的な仕事内容や向いている人材などの説明に力を入れてみるといいかもしれません。

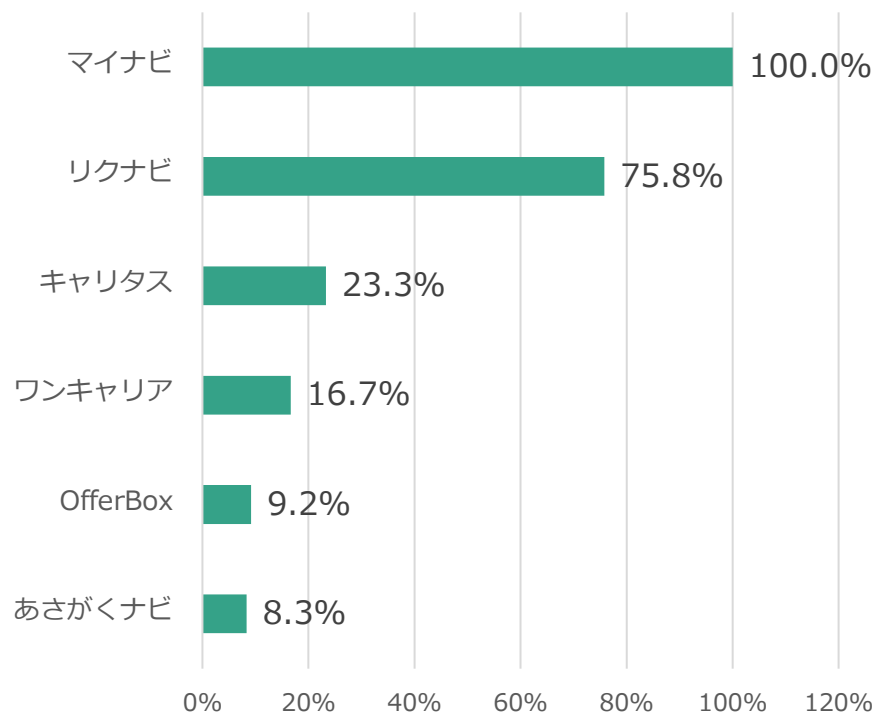
「志望業界・職種が明確に決まっている」という学生は25.0%であり、残り75.0%は何かしら悩みを持っています。早期選考や社員面談を取り入れている企業は、ぜひ学生の就活状況についてヒアリングすることをおすすめいたします。

3. 学生アンケート

Q. 現在登録している就活ツールを教えてください。
(複数回答可)



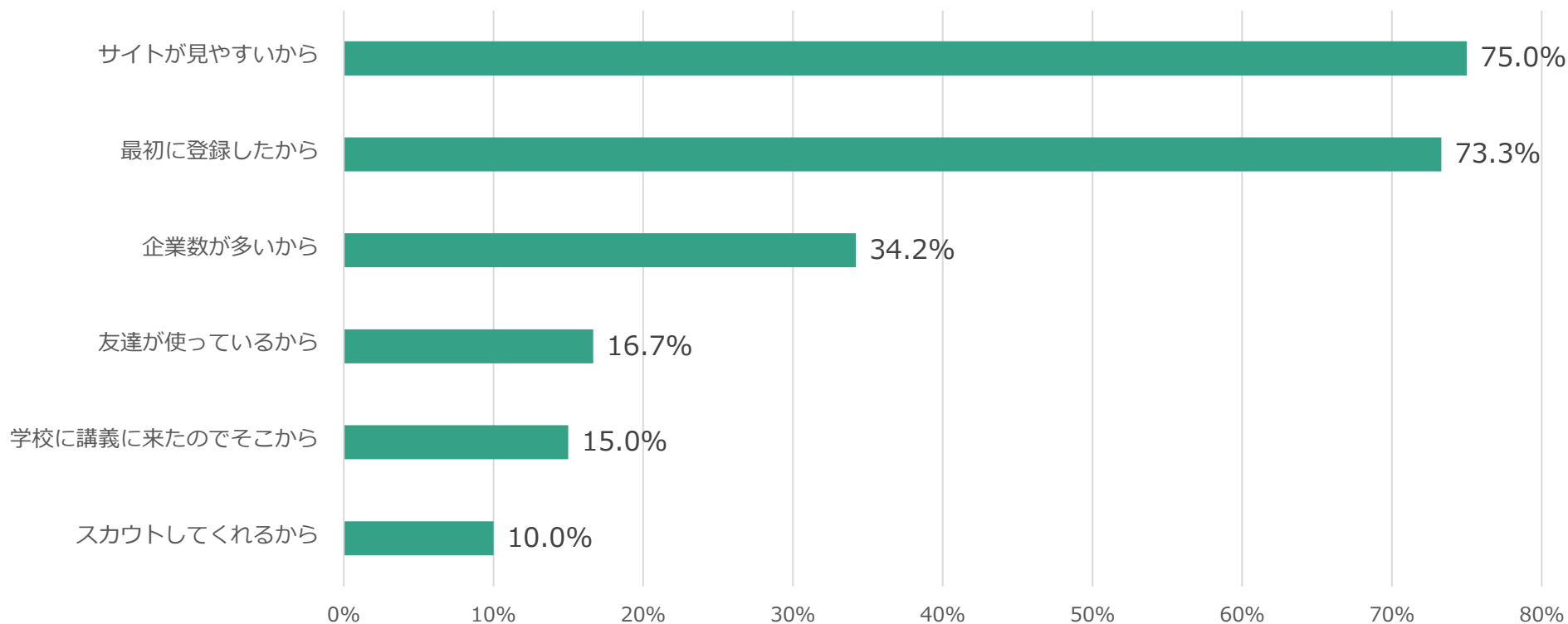
Q. 利用頻度の高い上位3つの就活ツールを
教えてください。



現時点で登録している就活ツールは、1位が「マイナビ」、2位が「リクナビ」、3位が「あさがくナビ」という結果になりました。登録率・利用頻度ともに、マイナビ・リクナビが圧倒的な支持を誇っており、3位以下と大きく差がついています。あさがくナビは、登録率では第3位にランクインしていたものの、利用率で見るとキャリアスのほうが高い結果となりました。あさがくナビについては、イベントに参加している学生の登録率が高まっているのかもしれませんが。

3. 学生アンケート

Q. なぜそのナビをメインで使っていますか？（複数回答可）

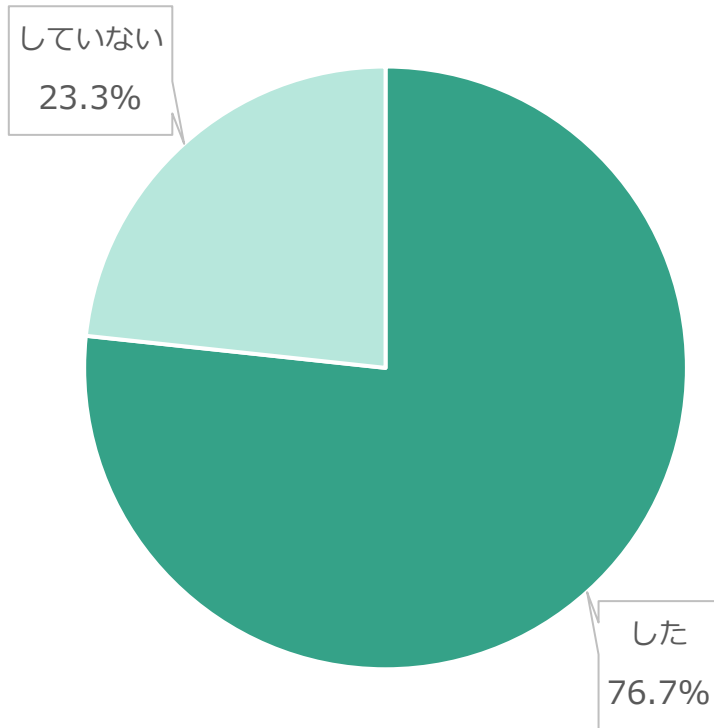


登録したナビサイトのなかで、最も利用している理由を尋ねました。「サイトの見やすさ」に続いて僅差で2位となったのが、「最初に登録をしたから」という理由です。解禁前のプレ期間で登録したナビサイトを、そのままメインのサイトとして利用し続ける学生が多いようです。

3. 学生アンケート

Q. 年末年始休暇中に就職活動はしましたか？

年末年始に就職活動をしていた方は、どのような活動を行ったのか教えてください。



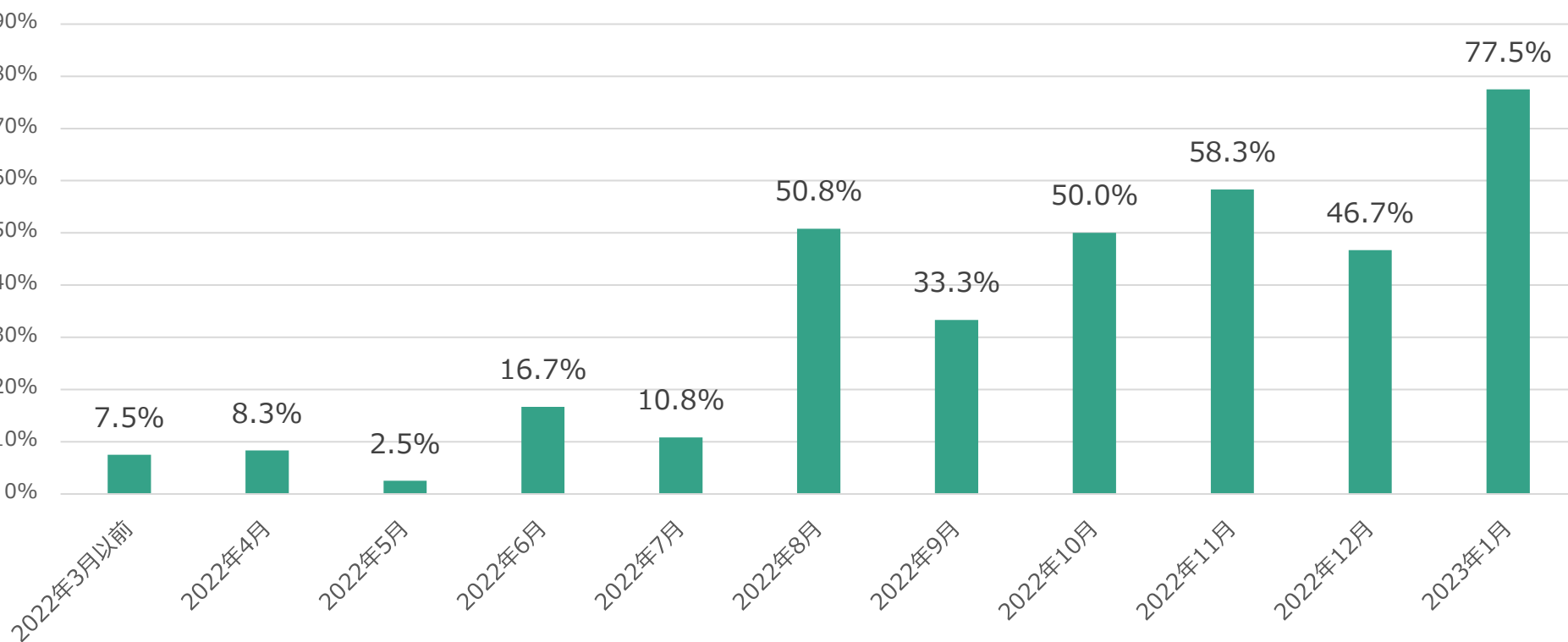
- ・ インターンや説明会の参加
- ・ ナビサイトでどのような企業があるか調べていた
- ・ 企業説明会のエントリー
- ・ 早期選考のエントリーシートを提出した
- ・ 自己分析や企業研究を実施した
- ・ 企業エントリー、企業研究を行いました

年末年始休暇中でも、76.7%は就職活動をしていたようです。活動内容としては、自己分析から企業エントリーや実際にインターンシップに参加したりと、多岐に渡っています。

長期休暇中でも、「休みだから学生も動かないだろう」と思わず、採用活動を実施できる企業は、イベント開催をしてみてもよいかもしれません。

3. 学生アンケート

Q. インターンシップには、いつ参加しましたか？参加した時期をすべて教えてください（複数回答可）

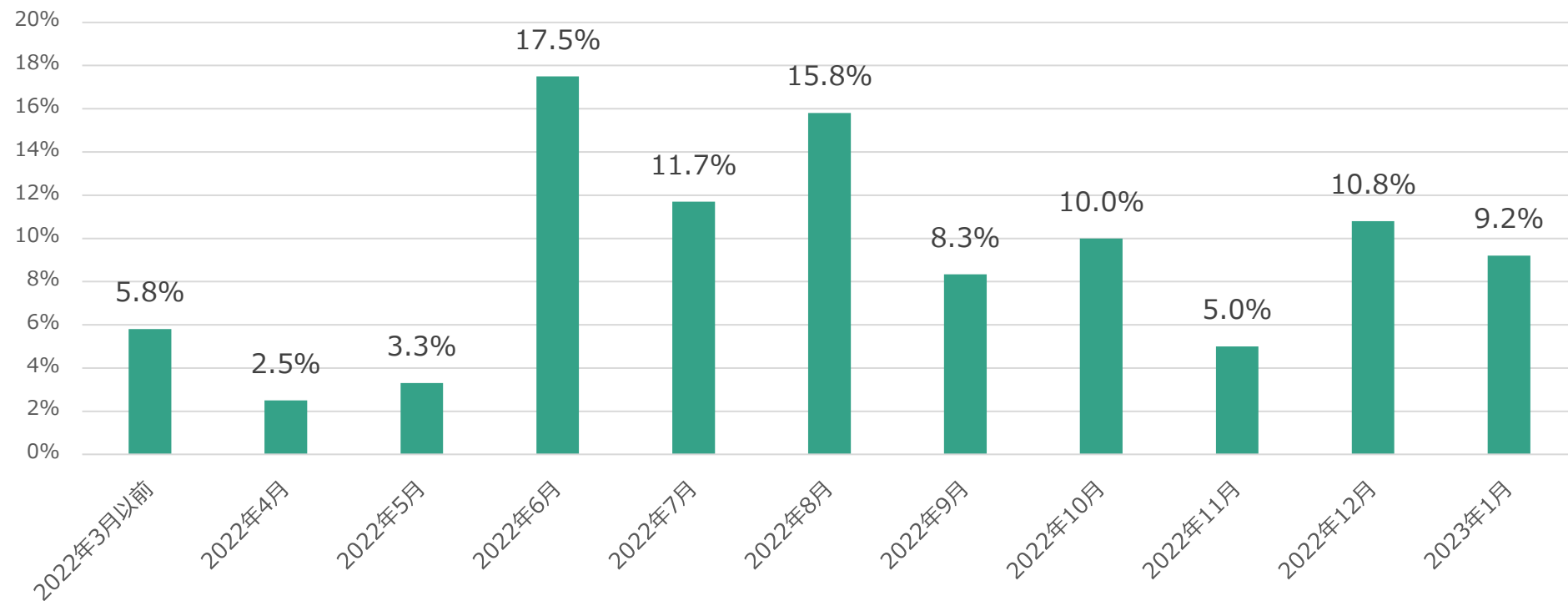


インターンシップに参加した時期で最も回答を得たのは、「2023年1月」となりました。続いて「11月」が58.3%、そして「8月」が50.8%となりました。学生は、8月～11月あたりで積極的にインターンシップに参加しているようです。また、年末に差し掛かる12月よりも、その前後の11月・1月のほうが参加しやすいようです。この結果を参考に、開催日程を調整してみてもはいかがでしょうか。

3. 学生アンケート

Q. 何月から就職活動をスタートしましたか？

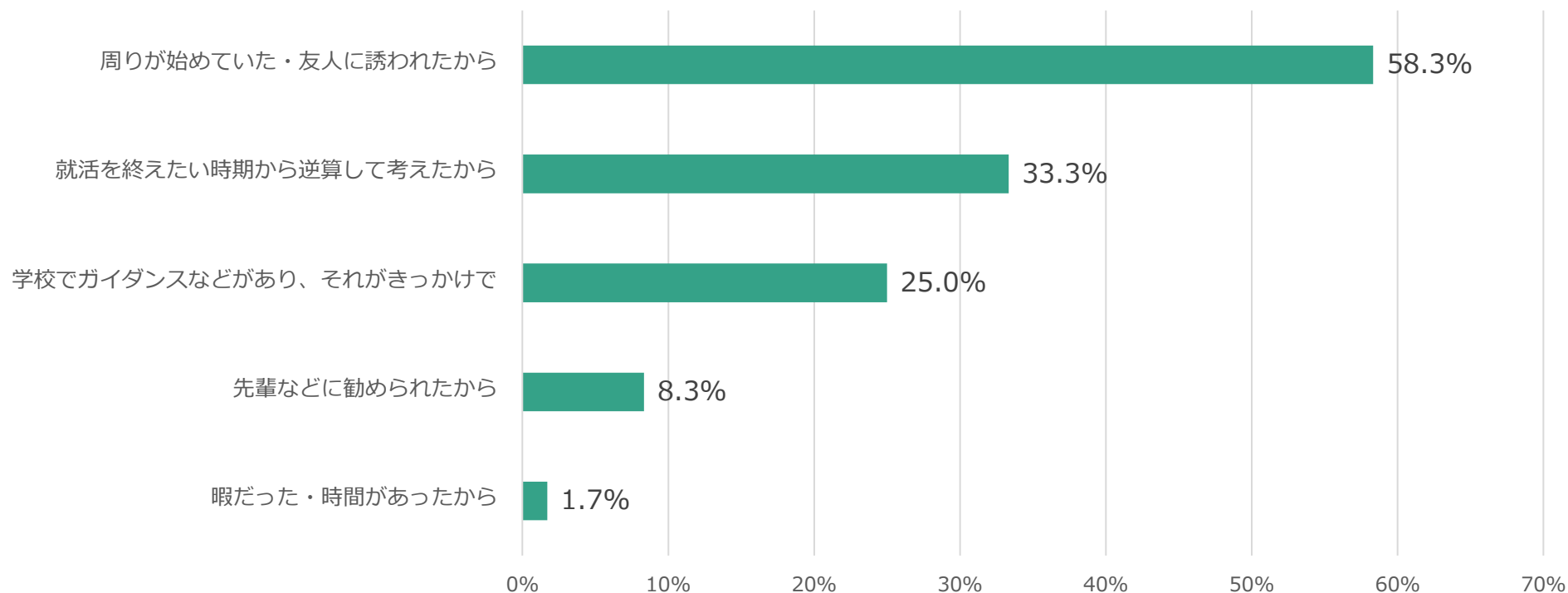
*スタートの基準はインターンシップへの参加だけでなく、自己分析や企業研究などを開始した時期も含む



就活のスタート時期としては、「6月」が17.5%と最も多く、続いて「8月」が15.8%という結果になりました。ナビサイトのインターンシップ情報解禁時期（6月、10月）や、長期休暇に入ると、新たに活動をはじめの層が増えることがわかります。しかし一方で、11.6%の学生は6月よりも前から就活をしており、年間を通して活動し続けている様子が窺えます。

3. 学生アンケート

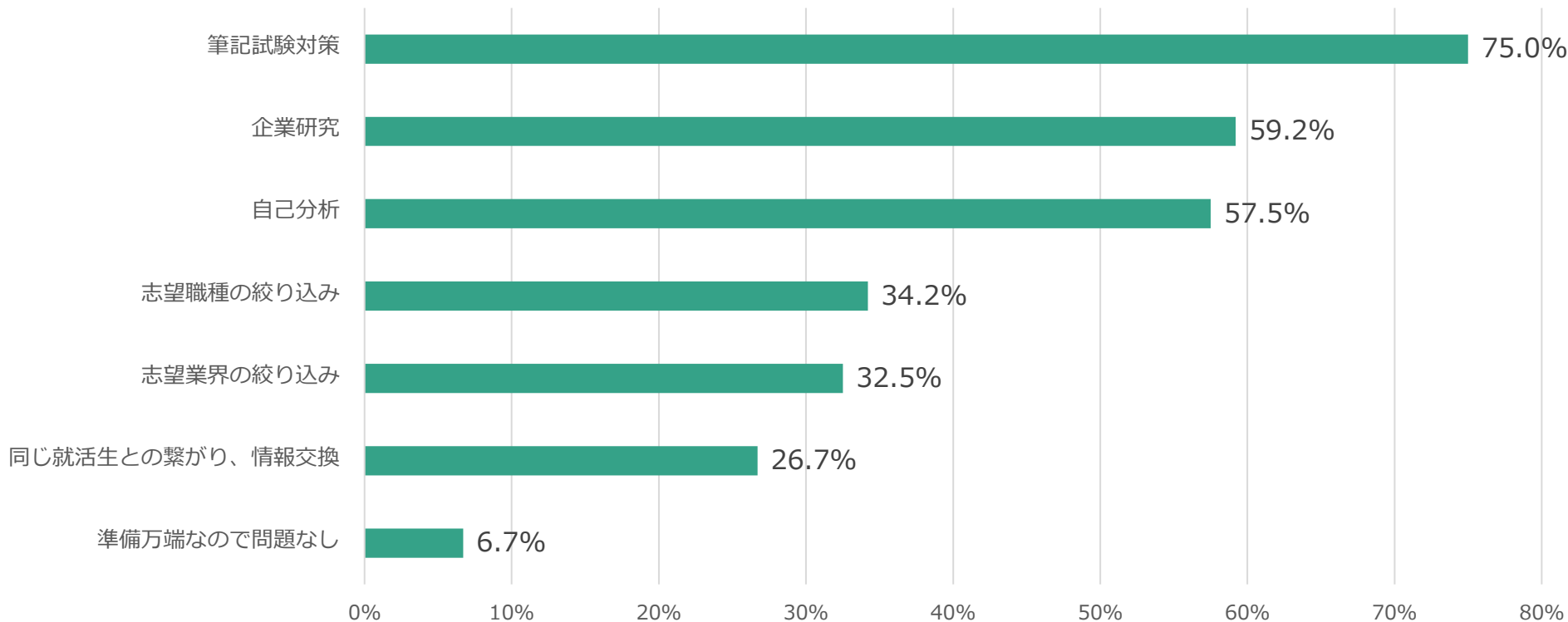
Q. なぜその時期から始めようと思いましたか？（複数回答可）



就活をはじめた理由としては、「周りが始めていた・友人に誘われた」という回答が58.3%と半数以上を占めています。「就活を終えたい時期から逆算して考えた」など、自発的な理由よりは、周囲の状況に感化されて活動をし始めるようです。今は、インターネット上の口コミやSNSなどを気軽に閲覧できるため、面識のない就活生同士からでも、影響を受けている可能性もあります。

3. 学生アンケート

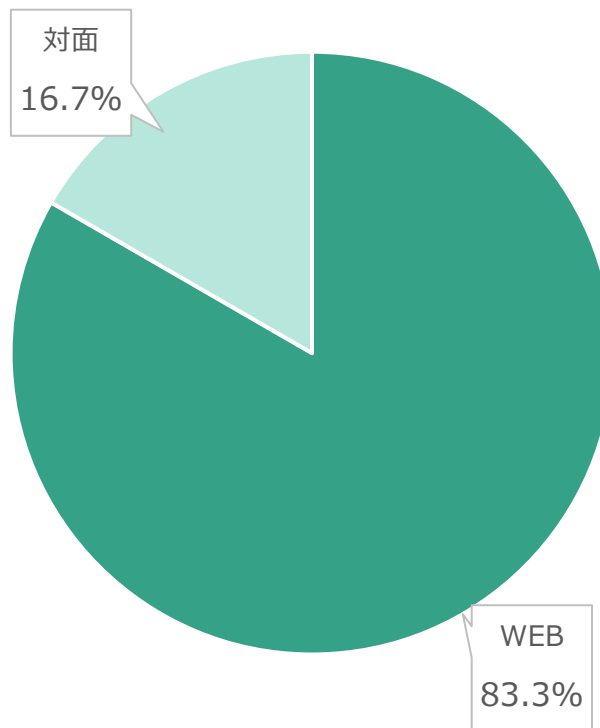
Q. 就活準備をするなかで、まだ十分でないと思うことはありますか？（複数回答可）



就活準備をすすめるなかで、75.0%もの学生が「筆記試験対策」への準備不足を感じていました。続いて「企業研究」「自己分析」が、6割弱と僅差で並びます。業界や職種の絞り込みについては、過半数以上の学生は実施しているようです。基本的には、学生自身で乗り越えていくものになりますが、企業研究については、社員面談や選考のなかでフォローすることが可能です。ぜひ、自社の選考学生の志望度醸成につなげていくことをおすすめします。

3. 学生アンケート

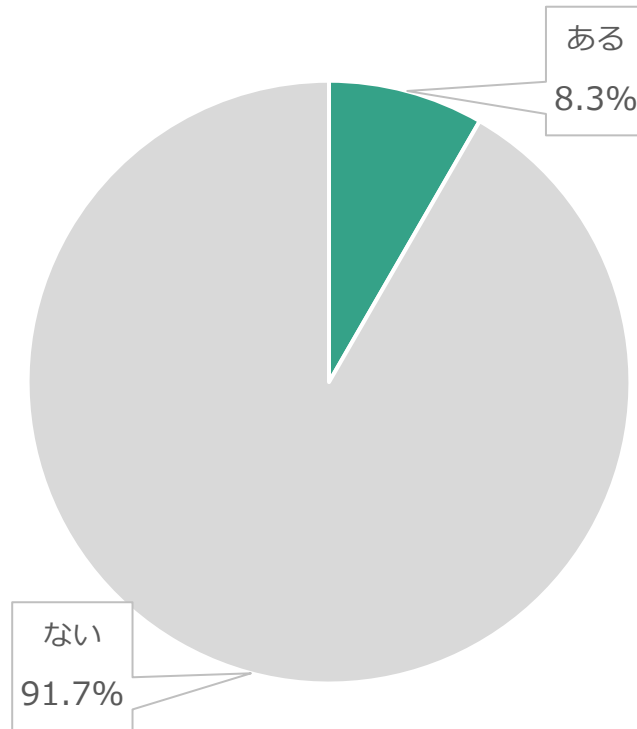
Q. インターンシップに応募するとき、対面とWEBのどちらに参加したいと思いますか？



インターンシップ応募の際、参加したいと思うのは、「WEB」が83.3%、「対面」が16.7%と大差がつけました。実に66.6ポイントも差がついています。対面・WEBの2択にすると、やはりWEBに軍配があがります。主流が入れ替わっていることを前提として、プログラムや選考フローを組み立てていく必要があります。

3. 学生アンケート

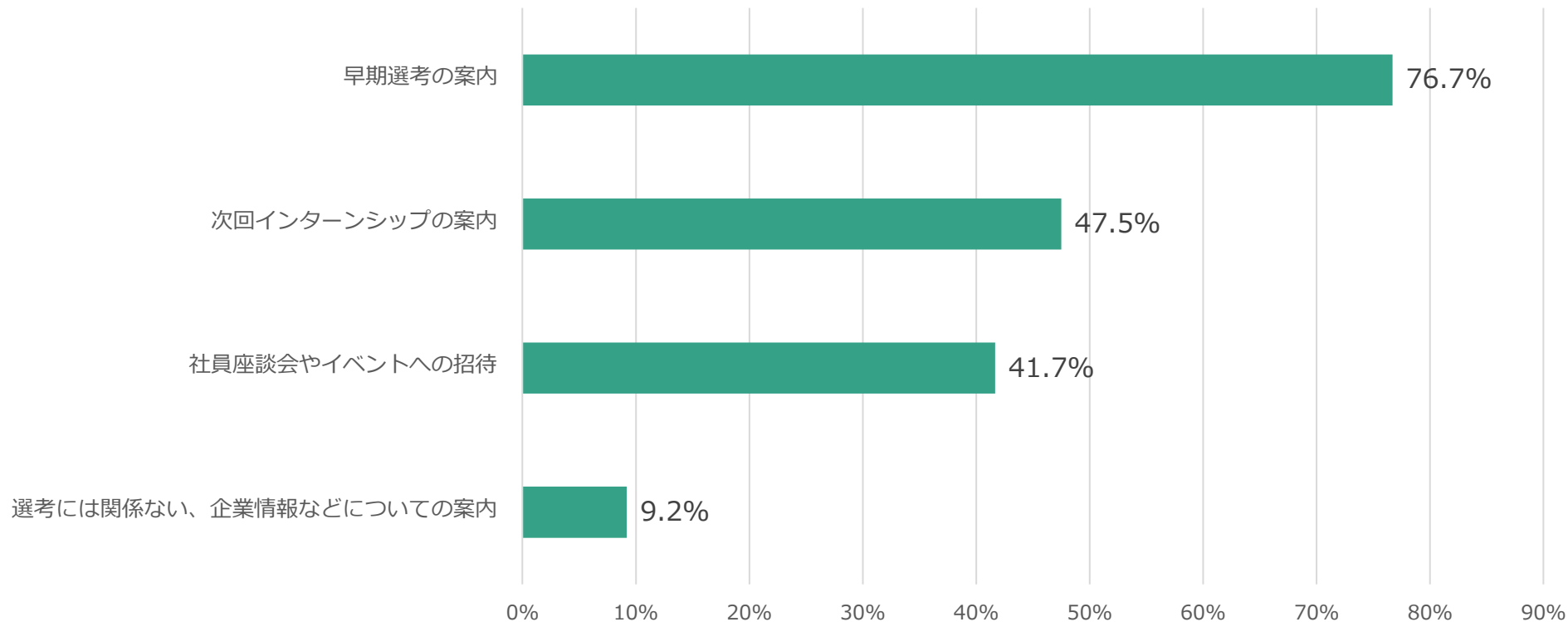
Q. 完全にSNS（Instagram/TikTok/LINE）の広告のみでインターンシップに参加した企業はありますか？



SNSの広告のみでインターンシップに参加したことがある、と回答したのは、8.3%と少数でした。近年、採用活動にSNSを利用する企業も増えていますが、そこから直接経由してくるケースはまだ稀なようです。とはいえ、実際にSNS広告から参加している学生がいるのも事実であり、学生の企業認知のきっかけになる可能性は否めません。

3. 学生アンケート

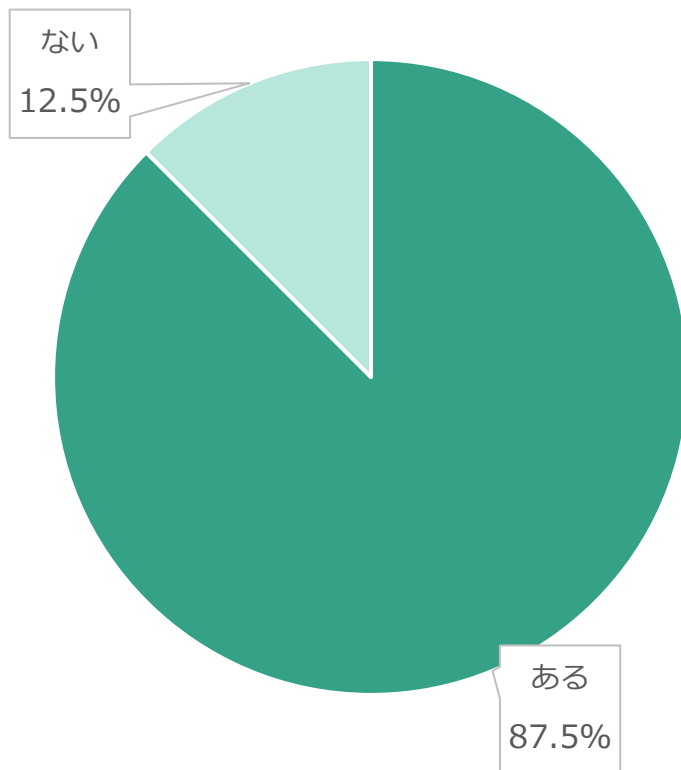
Q. インターンシップ参加後、実際に企業から受けたフォロー（案内）はどんなものがありましたか？
（複数回答可）



最も多かったフォローは、76.7%が回答した「早期選考の案内」となりました。続く「次回インターンシップの案内」や「社員座談会やイベントの招待」といった、企業側にとっての繋ぎ止め施策よりも、直接選考案内をするケースが一般的なようです。前述した「学生動向ページ」のデータからわかるように、学生の面接参加率が高くなっているのも頷けます。

3. 学生アンケート

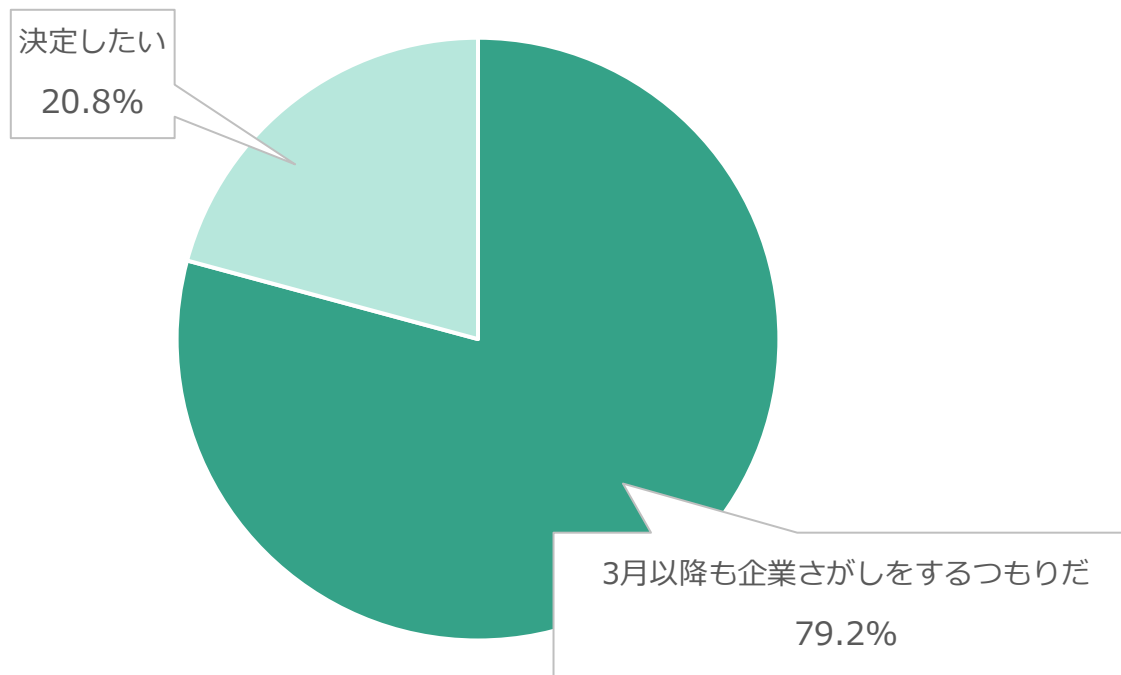
Q. 3月前までに、企業選考に進む予定はありますか？



87.5%の学生が、「3月前までに、企業選考に進む予定がある」と回答しました。グラフ化はしていませんが、選考に参加予定の社数を尋ねたところ、多い学生では4社確定していると回答がありました。解禁前の内定獲得率は、昨年以上に加速するかもしれません。

3. 学生アンケート

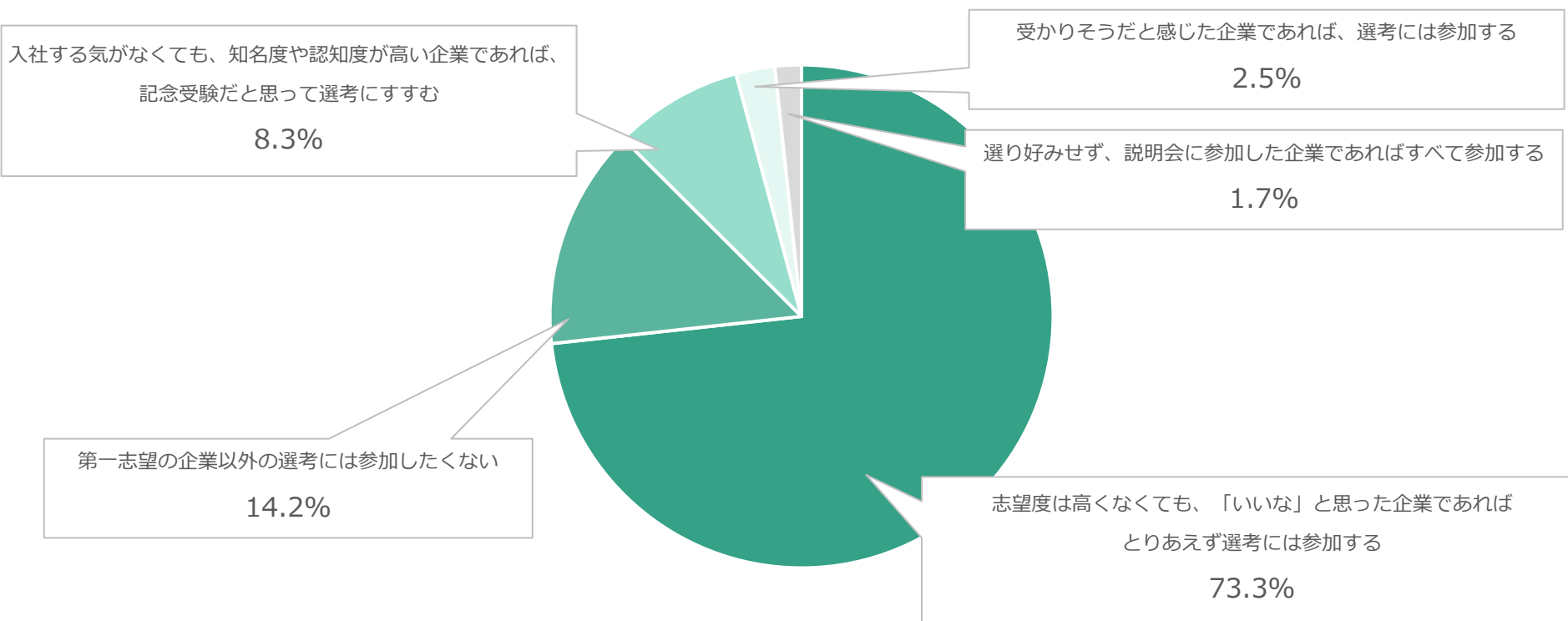
Q. 3月1日を迎えるまでに就職先を決定したいですか？



「3月1日を迎えるまでに就職先を決定したい」と答えたのは、20.8%となりました。79.2%の学生は、3月以降も企業さがしをすると回答しています。前述のアンケートでは、87.5%の学生が3月解禁前に選考参加の予定があると回答するなど、積極的に企業選考へ進んでいる様子が窺えますが、就職先を決定をしようとする学生はまだ少数派のようです。

3. 学生アンケート

Q. 選考参加の基準について下記の心情のなかから、当てはまるものを教えてください



選考参加の基準としては、「いいな」と思った企業であればとりあえず選考には参加する」という回答が73.3%と最多でした。「第一志望の企業以外の選考には参加したくない」という高い基準を掲げている学生は、14.2%と少なく、ある程度の志望度が担保できれば、学生は選考へ進むようです。

4. 新入社員エッセイ

気が付けば、入社から9カ月が経ちました。

当社主催の新入社員研修を春、夏、冬と受講させていただき、いよいよ先輩になるのかと焦り始めてきました（笑）。研修で同じ22年卒の他社新入社員の方々と、もう会えないのかと思うと少し寂しい気持ちもありますが、それぞれ自社で頑張っていると考えながら私も頑張ろうと思います！

現在、社内には続々と新戦力が加入しています。中途入社で年齢は違いますが、同期ができてとてもうれしいです！社内に新たな仲間が加わると、新たな刺激が入り組織が活性化すると思います。これが採用の醍醐味なのかなと感じつつ、担当企業様にも新しい刺激を入れられるように、全力でお手伝いしてまいります！

<2022年4月入社 大森 啓司>